



教育目標
 明るく思いやりのある子(きよく)
 進んで学ぶ子(かしこく)
 健康でねばり強い子(たくましく)

金武地区消防本部による着衣泳法講習会

本格的な海水浴のシーズンを向かえ、着衣での水中動作を経験し、衣類や身近な物を浮き具として活用できることを知り、子ども達が水中で身を守るための知識や技法を学ぶことを目的に「着衣泳法講習会」を7月11日(水)に金武地区消防本部から12名の職員をお迎えし、実技を通じた実践的な講習会を実施しました。

2校時は、1・3・5年生の子ども達が着衣のままプールに入り、水に慣れ親しみ、ペットボトルによる背浮きを体験しました。そのあと、プールの内側のふちにそって走って水流を起こし、その水流に流されながら背浮きやペットボトルによる背浮きをしました。流れに乗って浮くことの難しさや水流の流れを実感できたようです。

次の3校時は、2・4・6年生の子ども達が講習会を実施しました。同じようにして、洋服を着たまの背浮きやペットボトルでの背浮き、そして、水流を作り、その水流に逆らうように泳ぐことの難しさを体験しました。

この「着衣泳法講習会」で、子ども達は、着衣のまま泳ぐことや水流に流されて浮くことの難しさを実感できたようです。命を守るために、静かに浮きながら救助を待つことの大切さを学ぶこともできました。

金武地区消防本部の職員の方は、「これから楽しい夏休みがやってきます。先生方は、皆さんが夏休みを終えて、真っ黒に日焼けして、元気な姿で登校することを待っています。ぜひ、お願いがあります。海や川に遊びに行くときは、必ず、お父さんやお母さん、大人の人と一緒に行ってください。子ども同士で行かないでください。よろしくお願いします。」とお話ししていました。

夏休みを安全に楽しく過ごすためにも、海や川へは大人と一緒に行きましょうね。保護者の皆さん、ぜひ、子ども達への声かけをよろしくお願いします。



写真1 着衣泳法講習会の様子



写真2 ペットボトルを使った背浮き

児童の感想

- ペットとボトルを使って浮くのは、難しかったです。でも、川や海に行ったときは、ペットボトルを使って浮くことができることを忘れないようにして、泳ぎたいです。(5年 女子)
- 去年もペットボトルを使って浮きました。今年は、ペットボトルを使わないでも浮くことができたので、とてもうれしかったです。(5年 女子)
- 水流があると、それに逆らって泳ぐことは難しいとわかりました。泳ぐのではなく、浮きながら救助を待つことも大切だと理解できました。(6年 女子)
- 去年は難しかったのですが、今年はペットボトルを使って、浮くことができました。浮きながら助けを待つことが大切だと学びました。(6年 女子)